



ホームページQRコード

東日本ジャーナル

http://www.jrtu-east.org/

JR東日本労働組合

〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号

TEL (NTT) 03-3453-2107 (JR) 057-2290

発行者/藤本圭一 編集者/嶋田信胤

1部20円(但し組合費を含む)

2020春季生活統一闘争

3月3日(火)

全12地本エリアで 総決起集会を開催

全組合員参加!

JRで働く者同士、力をあわせて 賃上げを勝ちとろう!

JR労働者の力を結集して 2020春闘を闘おう!

2020春闘 三本柱で闘おう!

春季生活統一闘争を 全組合員でつくりだそう

東日本ユニオンは2月8日に「第七回中央委員会」を開催する。2020春闘要求をはじめとした、当面する活動方針を決定し、今中央委員会後には2020春闘も本格化していく。

中央本部は1月9日に第三回地本代表者会議を開催し、2020春闘の取り組みとして、①3月3日に全地本本部で同日に統一して「春闘総決起集会」を開催する、②集会への全組合員参加、③労働者同士の共闘・連帯の三本の柱を提起し、闘いのスタートを切った。

私たちは、昨年の2019春闘を振り返るとともに、組合員一人ひとりがこれまでの踏襲にとらわれず「一歩前へ出る」という具体的な行動が必要であり、次世代を担う組合員やJR労働者に責任を持てる労働組合とすることが課題である。

組合員同士で声を掛け合い「春闘総決起集会」への結集を促すとともに、「JR労働者の大きな輪をつくることをめざし、私たち東日本ユニオンから「春季生活統一闘争」を全組合員でつくりだしていこう!

2020春闘 いよいよ始まる!

1月28日、連合と経団連の労使トップ会談が東京都内で行われ、2020春闘がスタートを切った。連合は2019年12月3日に開催された中央委員会において、2020春闘の闘争方針を決定した。5年連続でベースアップ(ペー

ア)は「2%程度」とし、定期昇給相当分を含め4%程度の賃上げを求めるとしている。一方、経団連は7年連続でベースアップを容認して賃上げの勢いを維持する考えを打ち出しているものの、先行きが不透明な経済状況などを背景に一律の賃上げには慎重な姿勢を見せ、最終的には各社の判断に委ねる方針を示している。また、多くの大企業が採用してきた新卒一括採用や長期・終身雇用、年功型賃金制度などの「日本型雇用システム」の見直しも呼びかけ、役割や成果に応じた賃金制度を提案しているのに対し、連合は大企業しか視界に入っていないと批判。大企業と中小企業、正社員と非正規社員の「格差の是正」に力を入れるべきだと主張している。

経団連の中西会長は「日本の賃金水準は先進国の中でも決して高くない。賃上げを続ける勢いは大事だ」と発言しているが、経営側

2020春闘 三本柱で闘おう!

製造業の業績や景況感に米中貿易摩擦、中東情勢などもあり、賃上げ意欲は昨年より後退している感がある。各社一律ではなく、各社の実情に応じた賃上げを検討する姿勢を強調している。

各企業の労使の交渉を経て、大企業の回答は3月11日頃に集中する見通しである。

製造業の業績や景況感に米中貿易摩擦、中東情勢などもあり、賃上げ意欲は昨年より後退している感がある。各社一律ではなく、各社の実情に応じた賃上げを検討する姿勢を強調している。

製造業の業績や景況感に米中貿易摩擦、中東情勢などもあり、賃上げ意欲は昨年より後退している感がある。各社一律ではなく、各社の実情に応じた賃上げを検討する姿勢を強調している。

2020春闘 いよいよ始まる!

1月28日、連合と経団連の労使トップ会談が東京都内で行われ、2020春闘がスタートを切った。連合は2019年12月3日に開催された中央委員会において、2020春闘の闘争方針を決定した。5年連続でベースアップ(ペー

ア)は「2%程度」とし、定期昇給相当分を含め4%程度の賃上げを求めるとしている。一方、経団連は7年連続でベースアップを容認して賃上げの勢いを維持する考えを打ち出しているものの、先行きが不透明な経済状況などを背景に一律の賃上げには慎重な姿勢を見せ、最終的には各社の判断に委ねる方針を示している。また、多くの大企業が採用してきた新卒一括採用や長期・終身雇用、年功型賃金制度などの「日本型雇用システム」の見直しも呼びかけ、役割や成果に応じた賃金制度を提案しているのに対し、連合は大企業しか視界に入っていないと批判。大企業と中小企業、正社員と非正規社員の「格差の是正」に力を入れるべきだと主張している。

経団連の中西会長は「日本の賃金水準は先進国の中でも決して高くない。賃上げを続ける勢いは大事だ」と発言しているが、経営側

旅行業の産別組織...2014年以降続いていた0.5%のベースアップ要求から1.0%の要求に引き上げ。

JR東日本の業績は

年末年始期間(12月27日~1月5日)のご利用状況は概ね順調に推移し、期間中の新幹線・特急列車等のご利用状況は455.2万人、前年比102%で前年を上回り、近距離きっぷの発売枚数は前年比102.7%と好調であった。また、1月30日にJR東

早期復旧に向けた経営側の方針と 現場社員の考えに「乖離」があることを指摘する!

12月25日に2018年度申第二三号「上越新幹線 上毛高原駅~浦佐駅間で発生した輸送障害」に関する申し入れの団体交渉を開催した。この輸送障害は10連休となったゴールデンウィーク前半の4月28日、上越新幹線「新潟沢変電所」で停電トラブルが発生し、さらに発生から運転再開までに長時間を要したことで、多くのお客さまに多大なご迷惑をおかけしてしまつた事象である。団体交渉では、運転再開までに長時間を要した原因とその対策など、再発防止に向けてハード・ソフトの両面から労使で多角的な議論を行った。

1. 「停電トラブル」が発生した原因と対策を明らかにすること。

原因
直接的な原因は変電所内の制御装置の基盤が故障したこと。あわせて変電所機器の誤った故障情報が発信されたことによるものである。基盤が「なぜ故障したのか」は特定できていない。社外有識者と調査委員会を立ち上げ、現在も調査をしている。今年度内に結論を出す予定である。

今後の対策
従来の周期交換のあり方

日本の第3四半期決算が発表された。単体は増収減益となり、物件費の増加や台風19号の影響による特別損益の計上により、すべての利益が減益ながらも、営業収益は8期連続の増収かつ、第3四半期決算として過去最高となっている。台風15号、19号やその後

五つの労働組合に エールを送る

2020春闘勝利に向けて、すべてのJR労働者の力を結集し、経営側に賃上げを求め闘う同じ労働組合として、JR東労組、

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

1月22日、申第十七号「アルコール検査器に関する申し入れ」の団体交渉を開催し、アルコール検査基準等の見直しに対する経営側の考え方を明らかにさせるとともに、検査器導入時の振り返りや現場実態、社員意識から議論をつくりだしてきた。

東日本ユニオンとして「飲酒に関わる事故を起こしてはならない」「これらも起こさない」という立場を明確にした上で、現在、乗務員だけが「アルコール検査器」による検査が行われている中、勤務前日から気を使って生活していること、現場での社員説明が足りないこと、数値を出さないことが目的になつてはならないことなどを主張した。

経営側の認識
断が優先する」との認識

技術センターの社員が現場に到着するまで時間がなかったのは事実であり、初動時点から技術センター社員の対応であればスマートフォンにできたことも事実である。

東日本ユニオンの主張
運転再開まで4時間もの時間がたったのも事実である。そこには変電技術者が現場まで到着するまでの「足ロス」が一つの要因であったのも事実である。早期復旧といった場合「多重システムのバックアップシステムがダウンしないハード対策」「指令と現場間の連携」「足ロスなどのソフト対策」など、さまざまな角度から検証を行う必要がある!

3. 今後、設備トラブルが発生した時における早期復旧の対策を講ずること。

新幹線では「総合技術者」を養成しているほか、繁忙期には変電社員を拠点に配置し、迅速に対応できるようにしている。新たにマニュアルを整備したが、早期復旧に向けて初動対応で「どこを見

「何を確認するべきか」「何を網羅しているのか」などを確認している。復旧時間のダウンタイムを「いかにこなしていくのか」の課題もあると認識している。隣接箇所から駆けつけるなどを検討していく。

「何を確認するべきか」「何を網羅しているのか」などを確認している。復旧時間のダウンタイムを「いかにこなしていくのか」の課題もあると認識している。隣接箇所から駆けつけるなどを検討していく。

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「何を確認するべきか」「何を網羅しているのか」などを確認している。復旧時間のダウンタイムを「いかにこなしていくのか」の課題もあると認識している。隣接箇所から駆けつけるなどを検討していく。

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「何を確認するべきか」「何を網羅しているのか」などを確認している。復旧時間のダウンタイムを「いかにこなしていくのか」の課題もあると認識している。隣接箇所から駆けつけるなどを検討していく。

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

「基準や見直し」について議論を行う

「アルコール検査」の導入目的を忘れてはならない

